

# 「人間性豊かな住まいと環境の創造」を通じて、 社会課題を解決に導き、時代の要請に応える 新たな価値を創造します

積水ハウスグループでは、創業以来、CS(お客様満足)を企業活動の根底に据え、「人間性豊かな住まいと環境の創造」に取り組んでいます。お客様がいつまでも安全・安心に、健やかに、そして快適に暮らせる住環境を提供すること、それは社会を取り巻く多くの課題に真剣に向き合い、その解決に取り組むことでもあります。防災・減災の推進、エネルギーの確保、生態系保全、地球温暖化防止、循環型社会の構築、超高齢社会への対応、次世代育成、コミュニティ再生など、多岐にわたる社会課題を一つひとつ解決しながら、企業活動を通じて、時代の要請に応える新たな価値を創造します。  
(2013年度建築戸数4万9752戸、累積建築戸数218万5189戸)

## 戸建住宅事業

戸建住宅の設計・施工および請負



鉄骨2階建て住宅「ビー・モード ジェント」



鉄骨3階建て住宅「ピエナ」



木造住宅シャーウッド「ザ・グラヴィス」

主な関係会社 ◎積和建設20社(住宅の施工等) ほか

## 賃貸住宅事業

賃貸住宅、医療介護施設等の  
設計・施工および請負



サービス付き高齢者向け住宅「セレブリオ」

主な関係会社

◎積和建設20社(住宅の施工等) ほか

## リフォーム事業

住宅の増改築等



間取り変更と最新設備導入で  
より快適な暮らしを実現



開口部のリフォームで  
断熱性・防犯性を向上

主な関係会社

◎積水ハウスリフォーム株式会社(住宅の増改築等)

◎積和建設20社(住宅の増改築等)

◎積和不動産7社(賃貸住宅の増改築等) ほか

## 不動産フィー事業

不動産の転貸借・管理・運営および仲介等



### 主な関係会社

◎積和不動産7社  
(不動産売買・仲介・  
賃貸借・管理等) ほか

複合型多目的マンション「ベレオ・プラス」

## 分譲住宅事業

住宅・宅地の分譲、分譲宅地上に建築する  
住宅の設計・施工および請負



### 主な関係会社

◎積和不動産7社  
(不動産売買等)  
◎積和建设20社  
(住宅の施工等) ほか

スマートタウン「スマートコモンシティ明石台」

## マンション事業

マンションの分譲



### 主な関係会社

◎積和不動産7社  
(不動産売買等) ほか

分譲マンション「グランド  
メゾン池下ザ・タワー」

## 都市再開発事業

オフィスビル・商業施設等の開発、  
保有不動産の管理・運営



大規模複合開発「グランフロ  
ント大阪」

## 国際事業

海外における戸建住宅の請負、分譲住宅および  
宅地の販売、マンションおよび商業施設等の開発・分譲



アメリカ「シンコ・ランチ」



オーストラリア「セン  
トラルパーク」

### 主な関係会社

◎Sekisui House Australia Holdings Pty Limited  
ほか128社

## その他

エクステリア事業等



### 主な関係会社

◎積和建设20社  
(造園・外構工事等) ほか

外構・造園施工例

## 会社概要 (2014年1月31日現在)

社名	積水ハウス株式会社
本社	〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番88号 梅田スカイビル タワーイースト
設立年月日	1960年8月1日
資本金	1915億5919万円
発行済株式総数	686,895,078株
従業員数	2万2379人(連結) 1万3417人(単体)

## 事業所 (2014年1月31日現在)

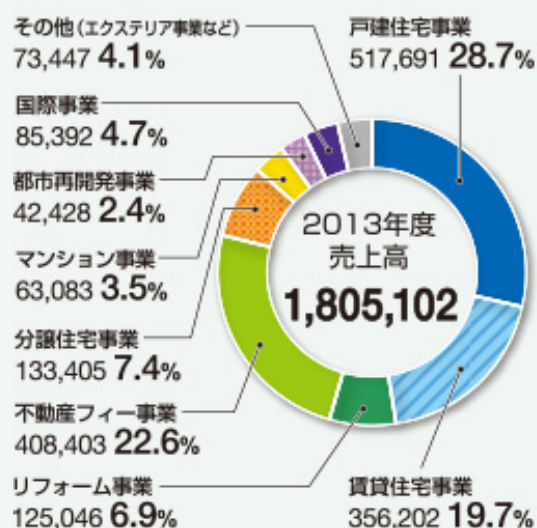
支店・営業所	125
カスタマーズセンター	30
展示場	428
工場	5
研究所	1
連結子会社	174
持分法適用会社	19

## 経営概要 (2014年1月31日現在)

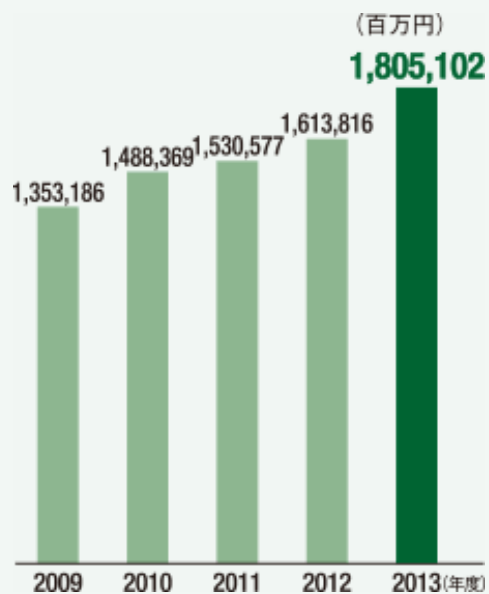
2013年度は、中期経営計画に則り「先進の技術で快適な住まいを」というブランドビジョン「SLOW & SMART」のもと「請負型」「ストック型」「開発型」の三つのビジネスモデルで「住」に特化した成長戦略を展開した結果、売上・利益共に過去最高の業績を達成しました。2013年4月には、政府が2020年までに普及を目指す「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)」を先取りし、省エネと創エネでエネルギー収支ゼロを実現する住宅「グリーンファースト ゼロ」を発売。新たな成長ドライバーとして販売を推進しました。さらに、多世帯型住宅の提案として、都市部を中心に販売を強化した3・4階建て住宅も戸建・賃貸共に受注をけん引しました。今期の好業績をさらなる飛躍への推進力にして、積水ハウスグループの総合力を生かすことで持続的な成長を図ります。

## セグメント別売上高 (連結)

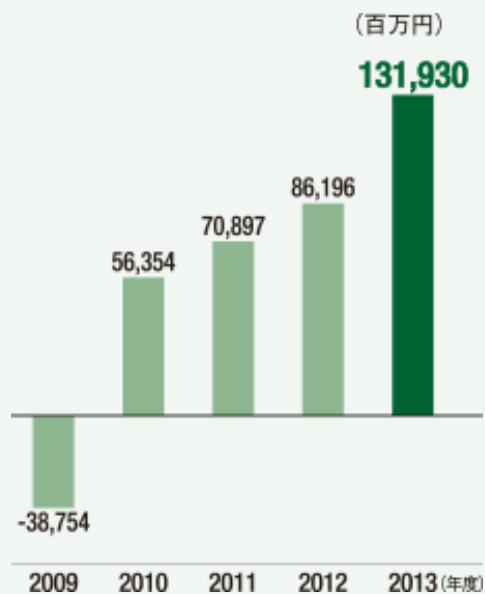
(単位:百万円)



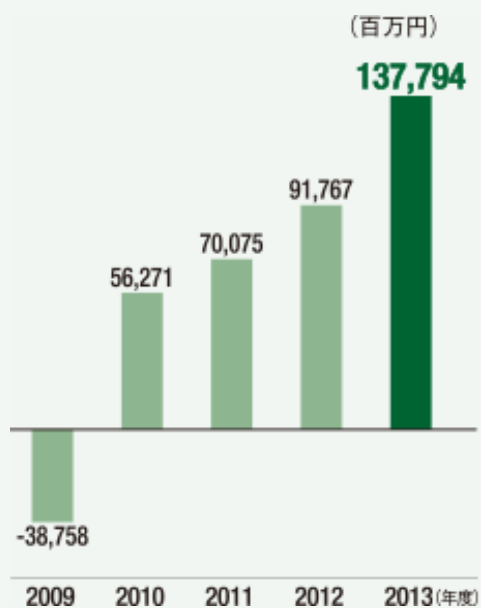
### 売上高（連結）



### 営業利益（連結）



### 経常利益（連結）



### 当期純利益（連結）



## お客様との出会いからアフターサポートまで、生活者視点の住まいづくりを実践

住まいは本来、気候風土・地域特性・敷地条件・家族構成・ライフスタイル・ライフステージなど、それぞれ異なる状況のもとに一邸一邸創造されるべきものです。積水ハウスでは創業以来、それぞれに異なる事情と、お客様一人ひとりの思いを受け止め、独自の構法や生産システム、ハード・ソフト両面にわたって細やかに配慮した提案によって、最大の満足を提供する「邸別自由設計」の住まいづくりに一貫してこだわり続けてきました。限られたプランから選ぶのではなく、出会いから設計・生産・施工・アフターサポートまで、各プロセスを充実させたお客様視点の住まいづくりを、じっくりと時間をかけたフェースツーフェースの「コンサルティング・ハウジング」により実践しています。

1

住まいづくりの前に

### お客様との出会いの場を全国各地に

地域密着の観点から、住まいづくりの現場が、できるだけ社会に開かれたものになるようにと考え、住まいや暮らしに関する情報発信や現場見学の機会づくりに努めています。主な拠点となるのは、全国各地の建築現場や展示場、「住まいの夢工場」などの体験型学習施設。いずれも貴重な出会いの場と位置付けています。「邸別自由設計」で建築した住まいの品質を確認し、積水ハウスの提案力や技術力を知り、納得した上で住まいづくりを始めていただきます。

住まいづくりに携わる全員が「お客様視点」で対応

## 建築現場

オーナー様の協力のもと、建築現場を公開

建築現場には積水ハウスの住まいづくりの姿勢が集約されています。オーナー様の協力を得て、建築現場や完成現場をお客様との出会いの場として公開しています。積水ハウスでは、完成まで全責任を持つ「責任施工」体制を取っています。積和建設(100%出資の子会社)や協力工事店を中心とした施工組織を確立。現場力の強化を図ることが、施工品質向上だけでなく、安全対策・現場美化・近隣配慮などの徹底につながっています。



オーナー様の協力のもと、1989年から25年にわたり日本全国積水ハウスデー「住まいの参観日」を開催。2013年は1261会場に5万7815組が来場

モデルハウスは、地域特性や立地環境を踏まえた住まいのあり方や、今後求められるライフスタイルなどを提案する場です。多彩なモデルハウスを全国で展開。敷地や要望に対する解決手法を具体的に提示しているので、住まいづくりのヒントを見つけていただくことができます。オーナー様や地域の方々との交流の場としても活用しています。



全国に計428の展示場を設置（2014年1月31日現在）



新感覚のソファダイニング。2層ピロティバルコニーを望む大きな吹き抜けが開放感を生み出します

体験型学習施設

展示場だけでは確認できない構造や性能を「住まいの夢工場」で体験・納得

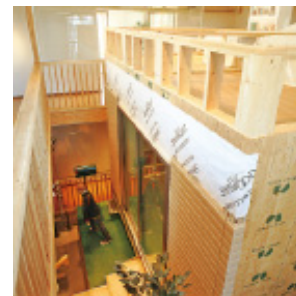
住まいを建てる前には疑問や不安が付きものです。積水ハウスでは納得して住まいづくりを進めていただくために、体験型学習施設「住まいの夢工場」を全国6カ所に設けています。一般の展示場とは違い、構造部分の実大モデルや、多彩な実験装置などを通して住まいの強さや快適性などを体験できる、楽しみながら学べる住まいづくりのテーマパークです。



2013年度「住まいの夢工場」来場者は9万3116人



制震システム「シーカス」の性能を実物で検証



万一の災害から暮らしを守る工夫を実物で確認

1  
お客様との出会いの場を全国各地に

2  
「人」と「技術」が支えるオンリーワンの住まいづくり

3  
お引き渡し後も末永いお付き合いを継続

未来の「安全・安心・健康・快適」な暮らしを長期的視野で研究・検証

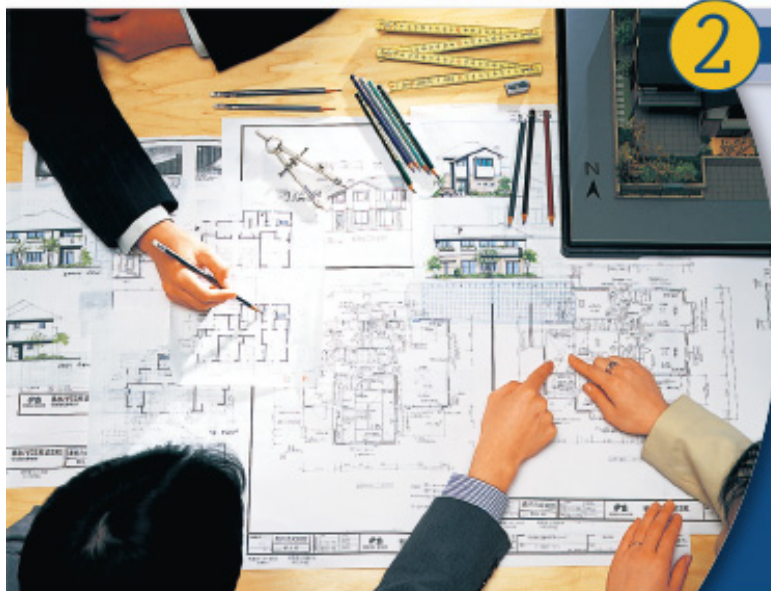
## お客様との出会いからアフターサポートまで、生活者視点の住まいづくりを実践

2

住まいができるまで

### 「人」と「技術」が支える オンリーワンの住まいづくり

ハード・ソフト両面にわたる地道な研究を重ね、各プロセスにおける品質向上に努めています。工業化住宅のメリットを生かして構造安全性を確保しながらも、設計の自由度を高めて十人十色の要望に応えるため、独自の構法や生産・施工のシステムを開発し、進化させています。



「コンサルティング・ハウジング」による「個別自由設計」が基本

### 個別設計

さまざまな要望に応える「個別自由設計」

窓口となる営業担当者は、家族それぞれの趣味や好み、ライフスタイルやライフステージなどについて丁寧にヒアリングしながら打ち合わせを進めます。敷地調査では周辺環境も含めて綿密に確認。これらは将来の暮らしまで考慮した提案を行う上で大切にしているプロセスです。プランニングの過程では、お客様の諸条件に合わせて最適な環境技術を提案するための環境シミュレーションツールや、構造の安全性を確保するための構造計画システムなど、独自に開発したシステムを駆使しています。

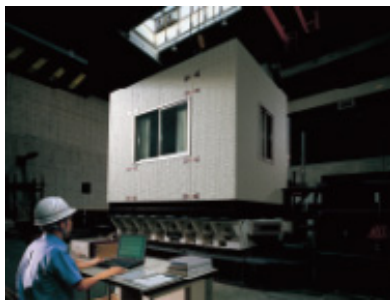


お客様のライフスタイルやこだわりを丁寧にヒアリング

### 研究開発

独自の構法や新技術、新しい暮らし方などを「総合住宅研究所」で研究開発

「総合住宅研究所」(京都府木津川市)では、住まいに関するハード・ソフト両分野の研究開発を行っています。建築物の振動実験や建材の耐久実験などにより耐震性や居住性を検証。自社内での性能検証は迅速な課題発見・解決につながり、これまでに多くの成果を上げてきました。人間生活工学に基づくユニバーサルデザイン、新しい環境技術や暮らし方などの研究にも取り組んでいます。



外壁実大振動実験で耐震性能を検証



実大建物における音響性能の評価



子どもの生きる力をはぐくむ住環境を研究

## 生産

多品種の「邸別生産」を合理的に実現、高品質・高精度な部材を供給

「邸別生産」が基本の積水ハウスでは、多品種にわたる部材生産において、コンピューターやロボットを駆使した「工業化」のメリットを最大限に生かし、品質の安定と生産効率を両立させています。また、原材料の納入検査、生産ラインの抜き取り検査や品質検査、工場技術者の定期的な技能試験などを実施。厳格な生産品質管理体制を整えています。



ロボットによる自動化ライン



鉄骨防錆塗装厚検査

## 施工

専任体制と独自の技術により、均質で精度の高い施工を実践

「責任施工」体制のもと、手順や規則を厳密に定めた「施工技術マニュアル」を整備。工程ごとに厳重な検査を繰り返し、高い施工精度を確保しています。均質施工が難しい部位には、独自の施工技術を開発して導入。また、若い技能工を養成する訓練校（認定職業能力開発校）の運営、技能工の知識・技術の向上を促す各種研修や検定制度により、工事力の強化を図っています。



鋼製型枠「メタルフォーム」により、技能に左右されがちな基礎工事の均質・高精度化を実現



技能工の育成、職能教育にも力を入れています

1



お客様との出会いの場を全国各地に

2



「人」と「技術」が支えるオンリーワンの住まいづくり

3



お引き渡し後も末永いお付き合いを継続

未来の「安全・安心・健康・快適」な暮らしを長期的視野で研究・検証



## お客様との出会いからアフターサポートまで、生活者視点の住まいづくりを実践

3

快適に住み続けるために

### お引き渡し後も末永いお付き合いを継続

独自の「20年保証制度」や「ユートラスシステム」など、長期にわたり住み継いでいただくための保証制度を充実させています。アフターサポートは「カスタマーズセンター」の専任担当者が対応。リフォームや建て替え・住み替えに対応する体制も整え、住宅を供給する企業の社会的責任として、いつまでも安全・安心・健康・快適な暮らしを提供できるよう、グループを挙げて取り組んでいます。

「カスタマーズセンター」が住まいのメンテナンスを末永くお手伝い

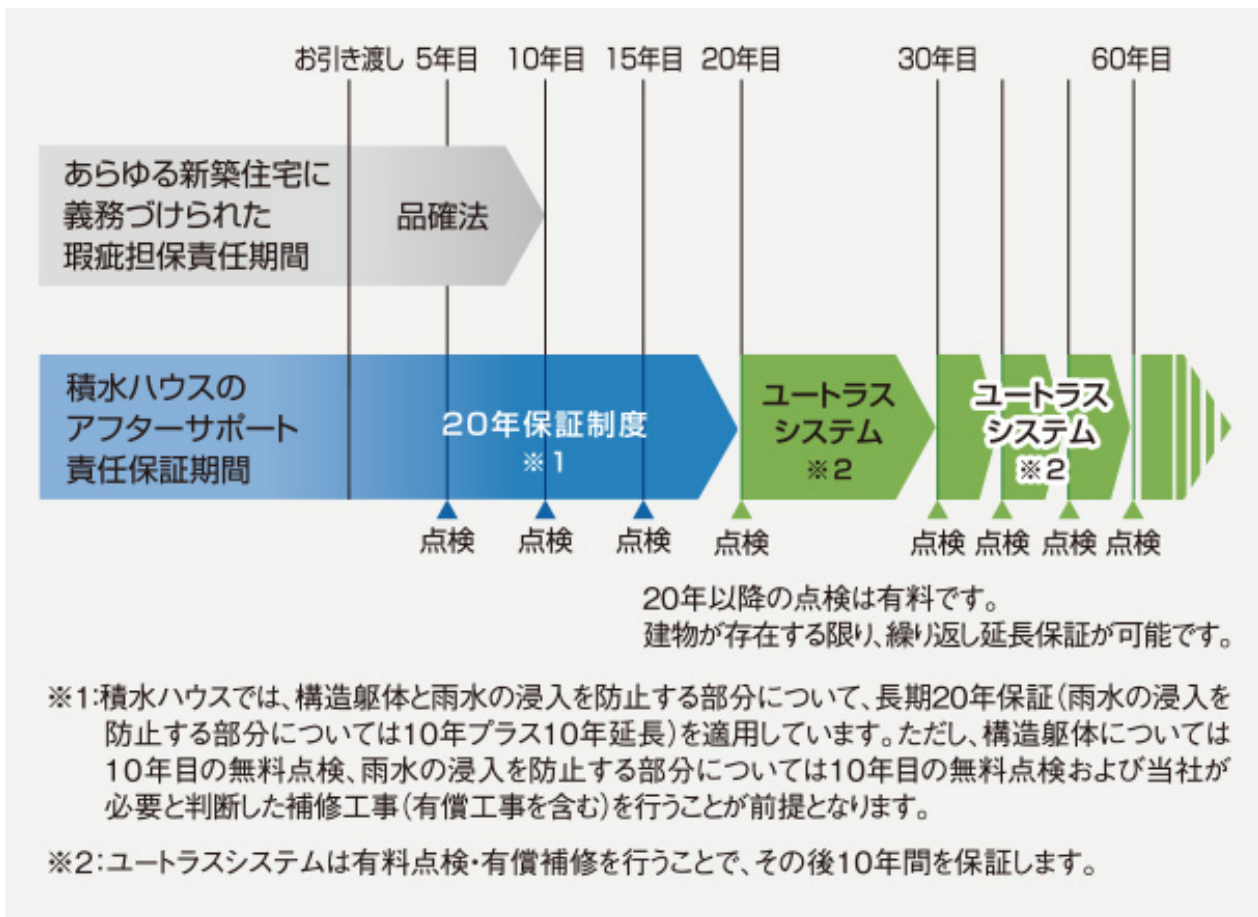
## 長期保証

長く住み継いでいただくため、法定基準以上の保証期間を設定

建物のお引き渡し時に保証書をお渡しし、構造躯体の20年保証※1をはじめ、各部位についても期間内の保証を約束しています。20年目以降も10年ごとに有料点検・有償補修を行えば、お客様が望まれる限り保証を継続できる「ユートラスシステム」を設けています。これにより住まいの資産価値を支え、やむを得ず売却する場合も、次の住まい手に安心をお届けできます。



お引き渡し時、保証書と一緒にメンテナンスに役立つ「住まいのしおり」をお渡します



## 定期点検・メンテナンス

全従業員の約1割を占める「カスタマーズセンター」専任担当者が迅速・確実にサポート

アフターサポートの窓口として、全国に100拠点(30事業所)の「カスタマーズセンター」を設置。全従業員の1割にあたる約1400人の専任担当者が、基本の定期点検のほか、住まいのアドバイザーとして、さまざまな相談に応じています。地震などの自然災害発生時には、緊急体制を組み、グループを挙げてオーナー様の支援および復旧・復興活動にあたっています。



定休日は「カスタマーズセンター休日受付センター」がオーナー様からの電話に対応

## リフォーム

ニーズに合わせた純正リフォームで「いつもいまが快適」を実現

リフォームの要望には、一貫した住まいづくりの思想を受け継ぐ積水ハウスリフォーム株式会社が対応します。内外装や設備のリフレッシュ、家族構成やライフステージの変化に合わせた間取りの変更、断熱性などの性能向上のためのリフォームを提案。詳細な住宅履歴情報をもとに、純正リフォームを行います。



家族の成長やライフスタイルの変化に合わせたリフォームプランを提案



太陽光発電システムを一体化したオリジナルのリフォーム屋根材「SHメタルーフPV」

## 再生住宅

愛着ある住まいを社会資産として生かす。積水ハウスの再生住宅「エバーループ」

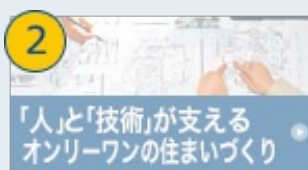
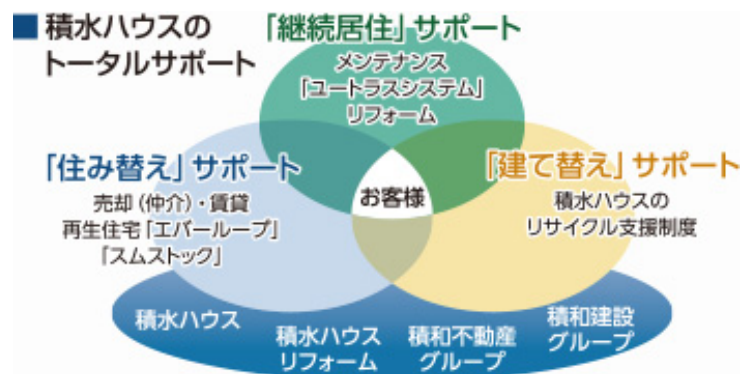
積水ハウスが建築した住宅を適正価格で買い取り、最新仕様に再生。次のお客様に責任を持ってお引き渡しします。住まいの長寿命化とともに、日本の住まいを社会資産として消費型から循環型に変えていく取り組みです。



## 住み替えサポート

全国ネットワークの積和不動産が万全の体制でバックアップ

将来的に住み替えなどで住まいを手放すことになった場合、積水ハウスグループの「積和不動産」が全面的にバックアップ。売却や賃貸化のお手伝いはもちろん、仮住まいや住み替え先の提案まで、トータルにサポートします。全国にネットワークを広げる積和不動産だからこそ、さまざまなケースにスムーズに対応。安心してお任せいただけます。



未来の「安全・安心・健康・快適」な暮らしを長期的視野で研究・検証

未来の「安全・安心・健康・快適」な暮らしを長期的視野で研究・検証

「SUMUFUMULAB(住ムフムラボ)」

2013年4月、「グランフロント大阪」(大阪市北区)のナレッジキャピタル内にオープン。「生きるコトを、住むコトに。」をテーマに、人生をより豊かにするために「住む」時間を大切に感じていただきながら、新たな暮らし方を共創していく業界初の情報発信・研究開発拠点です。実物大の住空間や多彩な展示などを中心に紹介。体験や情報交流を通して自分にふさわしい暮らしが発見できます。



「かぞくのかたち」ゾーン



「いごこちのかたち」ゾーン



「いきたたのかたち」ゾーン

施設内では、暗闇で五感が研ぎ澄まされ、普段とは異なる「気付き」を得られる「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」との共創プログラム「対話のある家」を実施。多くの方が体験し、好評を博しています。また「住ムフム研究メンバー」になると、ワークショップなどを通じて、未来の家づくりのための研究に参加することができます。



来場者はオープン7カ月で年間目標の15万人を突破



本田技研工業株式会社との「共創」によりロボティクス技術の住宅内における可能性を検証



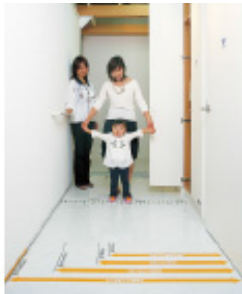
さまざまなワークショップやセミナーなどを開催。「住ムフム研究メンバー」限定のイベントも

## 「納得工房」

総合住宅研究所(京都府木津川市)内の「納得工房」は、住まいづくりにおいて大切なことを五感で比較・検証し、理解を深めることができる体験型研究施設。「体験と納得」をコンセプトに、住まい手とつくり手が共に理想の住まいを追い求める場です。来館者の体験を貴重なデータとして蓄積。アンケートの結果を新たな研究開発や、これからの住まいと暮らしのあり方の提案に役立てるとともに、広く社会に発信しています。



来館者の体験を貴重なデータとして蓄積



アンケート結果を「データばる」にまとめ、生活者情報として発信

また、半年間のカリキュラムを通して、自分に合った住まいと暮らしをじっくり学べる「すまい塾 こだわり講座」、住まいづくりに役立つ知識や、日々の暮らしを豊かにするアイデアなどを紹介する「すまい塾 公開講座」を開講。関心をお持ちの方は、どなたでも受講していただけます。



お子様連れの方もゆっくり見学できるよう「納得工房」では託児サービスを実施



社内外から多彩な講師を招いて開催する「すまい塾 公開講座」

こうした研究の成果が、お客様の新たな一邸へとつながっていきます

1

お客様との出会いの場を全国各地に

2

「人」と「技術」が支えるオンリーワンの住まいづくり

3

お引き渡し後も末永いお付き合いを継続

未来の「安全・安心・健康・快適」な暮らしを長期的視野で研究・検証



# TOP COMMITMENT

代表取締役会長 兼 CEO  
**和田 勇**

代表取締役社長 兼 COO  
**阿部 俊則**

## 「住宅が変われば社会が変わる」

住宅を通じて社会変革と共有価値の創造に挑みます

代表取締役会長 兼 CEO **和田 勇**

- 住宅は、社会課題を解決する多くの可能性を備えている
- 住宅業界における環境問題への対応をけん引
- 日本の大切な社会資本を守る
- 日本品質を世界へ
- 社会の変化に対応し、持続可能な未来を築く

▶ 詳しく見る



## 「高い倫理観で 持続可能な社会づくりに貢献」

重点課題を明確化し、戦略的CSR活動を展開します

代表取締役社長 兼 COO **阿部 俊則**

- 経済と道徳は両輪の関係
- 五つの重要な課題
  - 1 住宅のネット・ゼロ・エネルギー化
  - 2 生物多様性の保全
  - 3 生産・施工品質の維持・向上
  - 4 住宅の長寿命化とアフターサポートの充実
  - 5 ダイバーシティの推進
- 高い倫理観を持って、さらなる成長を目指す

▶ 詳しく見る





## 「住宅が変われば社会が変わる」

住宅を通じて社会変革と共有価値の創造に挑みます

代表取締役会長 兼 CEO 和田 勇

### 住宅は、社会課題を解決する多くの可能性を備えている

日本経済は長引くデフレからの脱却に向けた期待が高まり、景気の浮揚感が生まれています。2020年の東京五輪開催が決定したことで、明るい目標が生まれ、インフラ整備や観光振興による経済効果にも注目が集まり、成長戦略のさらなる加速が見込まれます。このような追い風を受けて、当社も世界に誇る良質な住宅を提供することで、社会の発展に貢献していかなければなりません。住宅は、日本社会や経済にさまざまな側面で大きなインパクトを与える事業であり、現在の社会課題を解決に導くことができる、多くの可能性を備えているからです。

住宅に求められる最も基本的な役割は「家族の生命と財産を守るシェルター」というものですが、その他にも「家族の安らぎの場」や「健康な暮らしのベース」、さらには「子どもの教育の場」としても重要な役割を担っています。また、住宅が集まるコミュニティは人々の交流の場となり、地域の安全や、文化を生み出す土壌となります。2011年の東日本大震災から3年以上が経つ今も、仮設住宅で不安な生活を余儀なくされている被災者の方々は多く、いかに住まいが心のよりどころとして大切か、地域のつながりが欠かせないものであるかが広く認識されることとなりました。

近年の社会課題となっている環境・エネルギー問題や、近隣関係の希薄化によるコミュニティの崩壊、少子高齢化による世代間交流の減少などの問題も、住宅やまちのあり方と密接に関係していることから、住宅を通して社会に良い変化を生み出すことができると考えています。年間約5万戸、累積にして218万戸という多くの住宅を提供している私たちだからこそ、その解決に向けて先陣を切って責任を果たしていかなければなりません。



## 住宅業界における環境問題への対応をけん引

当社は、1999年に発表した「環境未来計画」を契機として、全社横断的な環境活動をスタートしました。1997年に京都議定書が採択され、社会の環境問題への関心は高まりつつあるといった時代に、当社はいち早く環境を経営課題として位置付け、業界に先駆けて取り組みを推進してきました。2001年には生物多様性保全を目的とした「5本の樹」計画を開始、2005年には、目指すべき持続可能な社会を定義し、「サステナブル宣言」を行いました。

その後も、着実に事業に織り込んだ環境活動を進めてきた結果、2008年には環境省から「エコ・ファースト企業」の認定を受けました。これは、当社が環境活動のトップランナーとして住宅業界をけん引してきたことが評価されたものといえるでしょう。このたび、私はエコ・ファースト推進協議会の議長を務めることとなりましたので、業界を越えて連携し、日本企業の環境活動のレベルアップに一層貢献していきます。

## 日本の大切な社会資本を守る

日本の住宅にとって大きな課題と考えているのは、住宅の価値が短期間で失われてしまうことです。戦後、日本における住宅への投資は850兆円に上りますが、そのうち現在も残っているのは350兆円にとどまっています。スクラップ・アンド・ビルドによって500兆円の国富が消えてしまったことになるのです。欧米では住宅の建築後、年を経るごとに価値が高まることも多いのですが、日本では20年ほどで住宅の価値がほぼゼロになっています。その一因として、価値を維持するためのメンテナンスがきちんと行われていないことや、その履歴である「家歴」が記録されていないことが挙げられます。日本の大切な社会資本である住宅を守るためには、大掛かりなリフォームを行い、家歴も明確にして、年月を経ても価値が失われないようにしていかなければなりません。

そのような仕組みを整備するために、住宅メーカー10社が共同で優良ストック住宅推進協議会(スムストック)を設立し、取り組みを進めています。各社が責任を持って自社の販売した住宅を管理し、リフォームや売買も行うことで、新しいビジネスチャンスにもつながります。お客様は、メンテナンスの行き届いた中古住宅を手に入れることができ、将来は価値を失わずに売却することもできます。

国内では、人口減少などによって住宅市場の縮小傾向が続き、新築住宅の着工の増加は見込めなくなっています。市場の拡大に向けて、住宅取得時の生前贈与の非課税枠拡充などの政策提言を積極的に行うとともに、時代のニーズを先取りした「グリーンファースト ゼロ」などの高付加価値商品の提供、リフォームや中古住宅流通などのストック型ビジネスにも注力し、社会にとっての価値を生み出すために挑戦し続けます。



## 日本品質を世界へ

住宅産業はドメスティックな産業といわれてきましたが、時代は変化しています。日本の工業化住宅の優れた品質や、当社の先進的な環境技術は今、世界から注目を集めています。現在、オーストラリアをはじめ、シンガポール、中国、アメリカにおいて戸建住宅、集合住宅、複合商業施設などのプロジェクトを展開していますが、環境については非常に厳しい要求があり、私たちが培ってきた環境配慮設計やまちづくりの思想が求められています。中国では、社会問題となっている大気汚染や水質汚濁に対して、住宅の断熱性能の向上を図ることで家庭の暖房による大気汚染への影響を低減し、安全な水が得られるような設備を提供しています。文化や思想の異なる国々で事業を行うことは容易ではありませんが、「良質な住宅が人々に安全・安心・健康をもたらす」という思いを共有し、住宅を通して各国の社会課題の解決に貢献していきます。



## 社会の変化に対応し、持続可能な未来を築く

環境活動をスタートした当初は、取り組みがすぐ利益に直接結び付くということはありませんでした。しかし、社会にとって必要なことであり正しいことであると信念を持って継続してきた結果、それが私たちの大きな強みとなりました。これは最近いわれ始めたCSV(Creating Shared Value: 共有価値の創造)と同じ考え方であり、これからもその方針が変わることはありません。

住宅というのは、建ててから数十年にわたって住み続けられるスパンの長い商品ですから、長期間にわたりお客様に安心と満足をお届けする使命があります。昔の10年が今の1年に匹敵するほど変化の激しい現代社会ですが、今求められていることに敏感に反応し、素早く対応するとともに、将来の社会を見据えて、長期的な視点を持って経営のかじ取りを行うことで成長し続けられる企業でありたいと思います。

持続可能な社会への道のりはなお遠く、やるべきことはまだ数多くありますが、目標を明確にし、着実に進んでいきます。

TOP COMMITMENT ▶

代表取締役社長 兼 COO  
阿部 俊則 ▶



## 「高い倫理観で 持続可能な社会づくりに貢献」

重点課題を明確化し、戦略的CSR活動を展開します

代表取締役社長 兼 COO 阿部 俊則

### 経済と道徳は両輪の関係

江戸時代の農政家、二宮尊徳の言葉に「道徳なき経済は罪悪であり、経済なき道徳は寝言である」というものがあります。経済と道徳とは両輪の関係であり、どちらかをおろそかにすれば事業は継続できません。利益だけを追い求めるのではなく、お客様の満足度を高め、取引先や従業員、地域社会の人々とより良い関係を築き、社会的責任を果たすという姿勢を片時も忘れてはなりません。

このような考えのもと、当社は住宅業界のCSR活動をリードすべく、早くから推進してきました。そして、このたびCSRを事業活動とより深く統合し、活動のさらなるレベルアップを図るために、重点的に取り組む五つの重要な課題を明確にし、戦略的な管理指標を定めました。

### 五つの重要な課題

#### 1 住宅のネット・ゼロ・エネルギー化

日本における全消費電力量のうち家庭部門が3割を占めており、この削減に向けて住宅のゼロエネルギー化や、スマートハウスを中心とする電力需給の最適化、水素社会を見据えたインフラづくりなどが大きな課題となっています。住宅メーカーとして、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)の普及に貢献するとともに、新エネルギーを利用した新しい暮らし方の実現にも挑戦していかなければなりません。当社では、2013年4月にZEHを先取りした「グリーンファースト ゼロ」を発売、2013年度の販売比率を48%まで高められたことは大きな成果だと考えています。2014年度は60%を目指し、取り組みを推進します。

さらに、お客様が楽しみながら省エネできるよう、対話型ホームエネルギー管理システム(HEMS)「あなたを楽しませ隊」を開発しました。今回開発した対話型HEMSは、画面に登場するキャラクターと対話しながら利用することができる仕組みです。また、お客様の情報を一元管理するため、お客様ごとに適した情報やサービスを提供することができます。

## 2 生物多様性の保全

生物多様性の恵みは、人々の暮らしや企業の事業活動の基礎となることを認識し、早くから生物多様性の保全を重要なテーマと位置付け、取り組みを進めてきました。自然生態系の再生能力を超えない範囲で資源を利用するとともに、自然の循環と多様性を守るための配慮を行っています。その柱となるのが、住宅の原材料となる木材の持続可能な調達と、造園の際に地域の生態系に配慮する「5本の樹」計画です。2001年にスタートした「5本の樹」計画は多くのお客様のご理解と参加によって、2013年度には「5本の樹」計画の累計植栽本数が1000万本を超えました。

また、2007年に独自の「木材調達ガイドライン」を策定し、生物多様性への配慮や、働く人の人権や労働慣行も含めた、持続可能な森林経営による木材調達方針を明確にしました。木材の長く複雑なサプライチェーンの現状を把握するためには、サプライヤーの理解と協力が欠かせません。きめ細かいサポートを行いながら木材の持続可能な調達を推進していきます。

## 3 生産・施工品質の維持・向上

高品質な住宅を提供するためには、部材が高品質であることに加え、施工する職方の優れた技術が必要となります。しかし近年、職方の不足や新規入職者の確保・育成が社会課題となっています。当社では、優れた職方の育成や、部材の自社生産を拡大することで、高品質の住宅を安定的に提供することを目指しています。

当社が高い施工品質を維持できるのは、過去来の協力工事店との強いきずながあるからです。閑散期でも、協力工事店に長期にわたり安定的に発注し、職方の生活を支えることに注力してきたため、当社の仕事にロイヤルティーを持ち、質の高い施工をしてくれています。建築現場でのゼロエミッションに取り組んだ時には分別作業に積極的な協力が得られまし、東北地方での仮設住宅建設の際にも多くの職方が応援に駆け付けてくれました。

東日本大震災以降、全社を挙げて復興支援を行ってきましたが、2013年9月、木造住宅「シャーウッド」の陶版外壁「ベルバーン」の製造ラインを東北工場に新設しました。これにより100人の雇用を生み出すことができました。

## 4 住宅の長寿命化とアフターサポートの充実

日本の住宅は、平均寿命が約30年と欧米諸国に比べて著しく短いという特徴があります。住宅の資産価値が正しく評価されず、20年ほどで建物の評価がゼロに等しくなります。建てては壊すを繰り返しては、資源もエネルギーも大きな損失です。このような状況では、愛着のあるまちなみや地域の文化がはぐくまれませんし、国民の住居費負担も重くなり、心豊かな生活を送ることは難しいでしょう。

当社は、高品質・高耐久の住宅で、家族構成や住まい方の変化にも容易に対応でき、住まい手の愛着を生み出す工夫を凝らした住宅を提供しています。さらにアフターサポートを充実させ、住まいを長期にわたる優良な社会資本とすることに取り組んでいます。

## 5 ダイバーシティの推進

少子高齢化が進み、労働力も減少する中、多様な人々の能力を活用していくことは、日本の活力を維持していくための鍵となります。女性も高齢者も、障がい者も外国人も、多様な人々が活躍できる社会に変えていかなければなりませんし、そうすることで変化に対し、しなやかに対応できる豊かな社会になるはずです。

当社にとっても、人材のダイバーシティは不可欠なものと位置付けており、2014年2月には「ダイバーシティ推進室」を新たに設置しました。多様な人材が創造性、革新性を発揮する組織のもと、社員がいきいきとした社会生活を送れるようにし、共通の目標に向かって共に取り組むことで力を結集し、事業を通じたイノベーションの実現を目指しています。

住宅は、暮らしと密接にかかわる仕事ですから、家事や育児を経験した方、暮らしの中で不便を感じている方の感性が生きる場がたくさんあります。こうした事業上の意義も認識して、さらにダイバーシティを力強く推進していきたいと考えています。

### 高い倫理観を持って、さらなる成長を目指す



景気の回復基調を受け、業績は好調に推移していますが、このような時こそ注力しなければならないのが企業倫理、コンプライアンスの徹底です。社会環境の変化に応じて、従来の意識を改めていかなければならないこともあります。コンプライアンス研修などを通じて訴え続けることで、意識の徹底を図りたいと考えています。

企業を構成しているのは人です。お客様から、そして社会から信頼される人材を育成していくためには、各職場のリーダーがいかに愛情を持って接し、健全で活力ある職場環境をつくるかに懸かっています。

持続可能な社会をつくるためのさまざまな課題を解決するためには、多くの困難を乗り越えていかなければなりません。しかし、これは私たちの責任であると同時に、持続的な成長に向けたチャンスであると考えています。社員一人ひとりが高い倫理観を持ち、社会への責任を果たしていきます。

TOP COMMITMENT ▶

代表取締役会長 兼 CEO  
和田 勇 ▶